

**令和3年度千葉県水産振興審議会 栽培漁業・資源管理部会
議事概要**

- 1 日 時 令和4年3月17日(木) 午後2時00分から3時30分まで
- 2 場 所 千葉県教育会館6階608会議室
- 3 出席委員 委員10名中7名出席
柴田委員、根本委員、小野委員、畑中委員、松本委員、
高梨委員、山口委員

4 概 要

(1) 部会長及び部会長代理の選出について

部会長について、委員から根本委員が推薦され、異議なく選出された。
部会長代理は、部会長から鈴木委員が指名された。

(2) 「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」について

資料2について、漁業資源課からの説明の後、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

① 資料2-P3について

委 員：8次計画のポイントは、下線で示す「定量的な指標に基づく効果
検証」と「資源造成の目標を達成した魚種の資源管理への意向と
対象種の重点化」になるのか。

漁業資源課：そのとおり。下線部が8次計画の方向性を示している。

② 資料2について

委 員：8次計画中に実施する種苗生産施設の再編整備スケジュールは
どのような感じか。

漁業資源課：水産総合センター（以下「水総研」という。）種苗生産研究所に
ついて、今年度基本設計を実施しており、令和4年度に実施設計、
その後令和7年度まで工事を予定している。アワビ種苗生産施設
についてもその後整備する予定となっている。

(3) 「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」に
おける令和4年度実施計画について

資料3について、漁業資源課からの説明の後、原案どおり承認された。

(4) 「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」における令和3年度実績について

参考資料 P1-7 について、漁業資源課及び水総研から報告があった。

【質疑応答等】

① 参考資料 P5 について

委員：マコガレイの回収率が低いのは東京湾の外への移動によるものか。餌環境によっても考えられるが、餌環境の調査はしないか。

水総研：東京湾のマコガレイの移動範囲は内房海域を含めた湾内である事が判明しており、湾外への移動が原因ではない。ベントス調査により餌環境を調べる予定である。

② 参考資料 P7 について

委員：アワビ種苗生産の2か年続く不調について、今後の見込みはどうか。また、対応できることはあるのか。

漁業資源課：今年度の採卵は10月に実施しており、今のところ順調に生育している。

アワビには使用できる薬剤がなく、飼育に手間をかけて環境を整えるしかない事から関係者が協力して対応している。

(5) 本県主要魚種の資源管理・評価について

参考資料 P8-27 について漁業資源課から説明が行われた。

(6) 藻場回復に向けた取組について

参考資料 P28, 29 について、漁業資源課から説明が行われた。

(7) 漁場整備に関する事業実施状況について

参考資料 P30, 31 について、漁業資源課から説明が行われた。